

LIFELEX

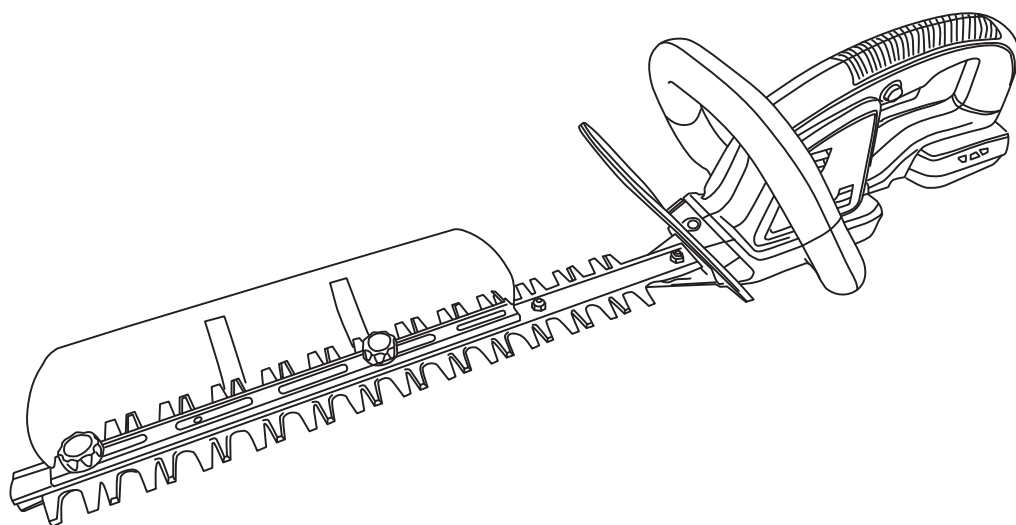
充電式

18V ヘッジトリマー350mm

取扱説明書

家庭用園芸工具

HK18V-HT350



※イラストはすべてイメージです。

**バッテリーパック・充電器は別売となっております。
本製品をお買い上げの販売店にてご購入ください。**

この度は「充電式 18V ヘッジトリマー350mm HK18V-HT350」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後はいつでも取り出して確認できるよう大切に保管をしておいてください。一般家庭用としてご使用ください。

用 途

●生垣の刈り込み。庭木の整枝に。

※芝生や雑草等の刈込みはしないでください。目づまりし、故障の原因になります。

仕 様

本体 (HK18V-HT350)

モーター電圧	DC 18V
ストローク数	約1650min ⁻¹
刈込幅	約350mm
最大切断能力	約10mm※ ¹
ブレード駆動方式	両刃駆動
1充電あたりの連続使用時間	約25分※ ²
本体サイズ	約長さ670x幅180x高さ150(mm)
質 量	約 1.66kg

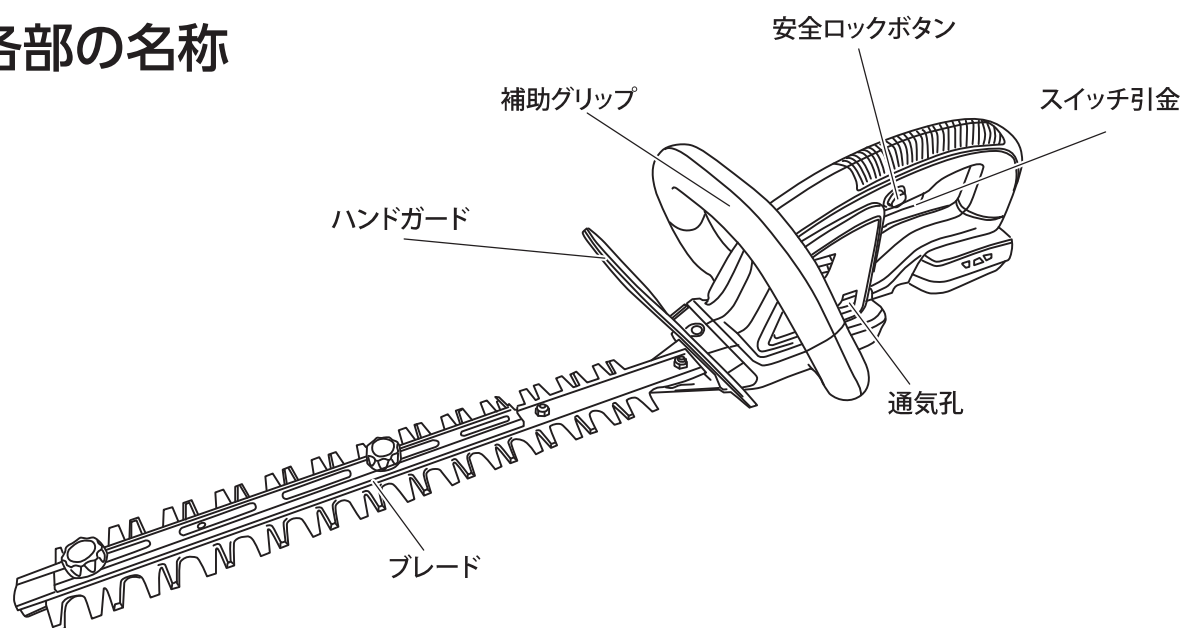
※¹ 数値は目安ですのでバッテリーパックの充電状態や樹木の種類、刃物の切れ味などの作業条件により異なります。

※² バッテリーパック1.5Ah取付け時の数値です。
バッテリーパック3.0Ah取付け時の能力は約50分。

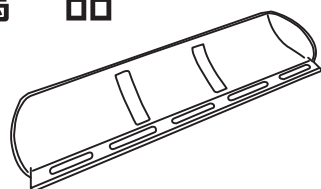
※ 本製品は専用バッテリーパック (KMBP-1815/
KMBP-1830) 以外使用できません。

※ 製品改良のため仕様・外観は予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

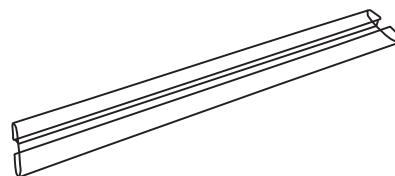
各部の名称



付 属 品



●チップレシーバー×1



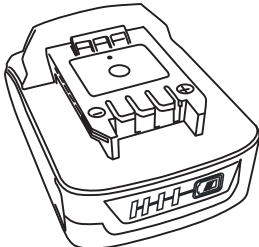
●ブレードカバー×1

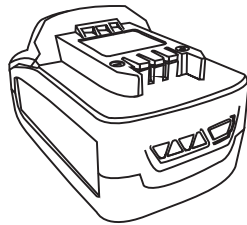
バッテリーパック・充電器は別売となっております。
本製品をお買い上げの販売店にてご購入ください。

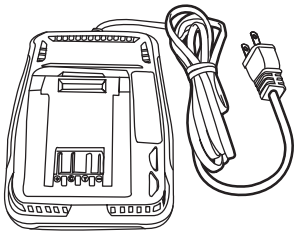
別売品のご紹介

バッテリーパック・充電器について

- 本製品をお買上げの販売店にてお買い求めください。ご注文のときは、下記の「品名・型式」をお伝えください。

品名	18V 1.5Ah バッテリー
型式	KMBP-1815 残量計付
容量	1.5Ah
JANコード	4548927069824
	

品名	18V 3.0Ah バッテリー
型式	KMBP-1830 残量計付
容量	3.0Ah
JANコード	4548927069831
	

品名	18V専用充電器
型式	KMBC-1824
JANコード	4548927069817
	

充電工具のご使用上のご注意

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

※本文中の『充電器』は「充電アダプター」を、『バッテリー』は「内蔵バッテリー」を含みます。

本製品を正しく安全にお使い頂き、ご自身や周囲の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、「警告」・「注意」の表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



注意

本製品や付属品の取扱い等に関する重要な注意事項

充電工具を安全にお使いいただくために



警告

1. 専用の充電器やバッテリーを使用してください。

- 指定以外の充電器でバッテリーを充電しないでください。
- 指定したバッテリー以外は専用充電器で充電しないでください。(火災・破裂の原因)

2. 正しく充電してください。

- 充電器は必ず家庭用 AC100V 50/60Hz 電源で使用してください。発電機やインバータ電源・DC 電源・仮設電源での使用はしないでください。
- 取扱説明書に記載された充電温度範囲外で充電しないでください。(火災・破裂の原因)
- 直射日光下・高温多湿な場所・雨中・粉じん・ごみ等が多い場所・異常な振動又は衝撃が発生する場所では充電しないでください。
- 充電中に充電器・バッテリーを布などで覆わないでください。(火災・破裂の原因)
- 充電するときは充電器とバッテリーの⊕⊖の方向を間違えずに取り付けてください。(火災・故障の原因)
- 使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。(火災・感電の原因)
- 充電が完了したら充電器からバッテリーパックを外してください。長時間充電状態が続くとバッテリーパックや充電器の寿命を縮める恐れがあります。
- 充電中「焦げ臭い」・「煙が出る」等の不具合が発生しましたら、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて充電器の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

3. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。

- バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡して発熱、発火、破裂の恐れがあります。

4. バッテリー・充電器を火中・水中に入れないでください。(破裂・ケガの原因)

5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。

- 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

6. 使用できる時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

充電工具のご使用上の注意

⚠ 警告

7. 作業場はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。また、作業の妨げになるような物は取り除いてください。
8. 揮発性可燃物（ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など）、引火性ガス（アセチレン・プロパンガス）のない場所で使用してください。（爆発・火災の原因になります。）
9. 濡れた所や湿気の多い所、雨中では使用しないでください。（感電、故障の原因になります。）
10. 作業場所に関係者以外は近づけないでください。特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
11. 作業に適した服装で作業してください。ネクタイ・ネックレス・手袋・袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあり危険です。
12. 作業の時は、必ず保護メガネを着けてください。作業環境によっては、保護マスク・保護帽・耳栓・安全靴をご使用ください。
13. 防音保護具を着けてください。
 - 騒音の大きい作業の時は、耳栓、イヤークッションなどの防音保護具を着けてください。
14. **ご使用前に製品に損傷がないか確認してください。**
 - 本製品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆがみ・ひび割れ等の異常がないことを確認してからお使いください。（事故やケガの原因になります。）
 - ご使用前には必ず試運転を行い、製品の破損・ゆがみ・ひび割れ・異常音・異常振動などがないことを確認してからお使いください。（事故やケガの原因になります。）
15. **正しい付属品やアタッチメントを使用してください。**
 - この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。（部品脱落や故障によるケガの原因）
16. **調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。**
 - 使用する前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。
17. **作業に合った充電工具を使用してください。**
 - 小型の充電工具やアタッチメントは大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
18. **無理な使用をしないでください。**
 - 安全に能率良く作業するため、充電工具の能力に合わせて作業してください。
 - 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。
19. **感電に注意してください。**
 - 濡れた手での取扱いや充電器の電源プラグの抜き差しはしないでください。（感電の原因）
20. **通気孔をふさがないでください。**
 - 通気孔は本体や充電器を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。（火災・故障の原因）

充電工具のご使用上の注意



警告

21. 充電器などのコードの取扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず充電器の電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のところがった場所に近づけないでください。（火災・感電・故障の原因）
- 破損したときはお買上げの販売店に修理を依頼してください。
- コンセントから充電器の電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグやアダプターを持って抜き差ししてください。（火災・故障の原因）
- 作業以外では本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器を設置することをお勧めします。

22. 不意な始動はさけてください。

- 充電工具を移動する場合や付属品を交換するときは、スイッチに指をかけないでください。（ケガの原因）

23. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力等で固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。

24. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。（ケガの原因）

25. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況等に十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

26. やけどに注意してください。

- 使用直後は、本体（モーター）や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

27. 定期的に点検してください。

- 充電器の電源プラグや充電工具本体・充電器の通気孔にほこりや粉じん等が付着している場合には、よく取り除いてください。（火災・故障の原因）

28. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な場所や、鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
- 充電工具本体やバッテリーを、温度が 50℃以上に上がる可能性のある場所（使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下）に保管しないでください。

29. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

30. ご自身で修理しないでください。

- 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

ご使用上の注意

注意

1. 延長コードを使用して充電する場合。

- 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み、正しく使用してください。

2. こまめに手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。(故障・破損の原因)

3. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化のおそれがあります。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、遮音壁を設けて作業してください。

ヘッジトリマーのご使用上のご注意

使用するパーツの使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください。

警告

- 本来の切断物以外のフェンスの金網、電線、10mm以上の太い枝やその他の硬質異物に当たると、刃物が破損して破片が飛散したり、刃物のかみ込みにより硬質異物の破片が飛散し、使用者および周りの人にあたって負傷したり、損害を与える危険性があります。
- 1. 指定の充電器・バッテリー・ブレード以外は使用しないでください。
使用するパーツの使用方法・注意事項をよく読み、その指示を守って安全に作業してください
- 2. 使用中は、ブレードに手や顔等を近づけないでください。また、スイッチ引き金から手を離してもブレードは数秒間、惰性で動いていますので注意してください。けがの原因になります。
- 3. 本製品は生垣の刈り込み・庭木の剪定専用で使用してください。指定以外の用途(芝生の刈り込みなど)に使用しないでください。けがや故障の原因になります。
- 4. 使用中は、本体を両手で確実に保持してください。
- 5. 使用中は作業している樹木周辺に人を近づけないでください。
- 落下物によるけがの原因
- 6. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂・変形がないことをよく点検してください。
- 破損や亀裂・変形があると、ケガの原因になります。
- 7. 雨中での作業や雨上がり、水やり(散水)直後の刈り込み、強風のときおよび夜間の使用はしないでください。事故・感電・ケガの原因になります。
- 8. 本製品を雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。
- 故障や感電、けがの原因になります。
- 9. 取扱説明書に記載されている用途、又は能力以上の作業には使用しないでください。
- 10. バッテリーパックは発煙・発火・破裂のおそれがあります。次のことを守ってください。
- 端子に金属を接触させないでください。
- 釘や硬貨等が入った袋や箱の中に入れないでください。
- 釘を刺したり、強い衝撃を与えないでください。
- 雨や水に濡らさないでください。
- 11. 作動すると危険な場合は、バッテリーパックを取り外してください。
- 12. 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切り使用を中止し、お買上げの販売店に修理をお申しつけください。
- 13. 体調のすぐれないときや作業に疲れたときは使用を控えてください。また、炎天下の作業はできるだけ避けてください。作業をする場合は暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- 14. 長時間の継続作業はしないでください。疲労による事故・手のしびれ・ハクロウ病の原因になります。目安として30分間の作業に10～20分間の休憩をとってください。
- 15. 高所(高さが2mを超える箇所)で本製品の作業を行うときは、高所作業用の機器を活用して、安定した足場を確保してください。
- けがの原因になります。
- 16. 作業範囲は作業者の肩から腰までの高さとし、それ以外では作業を行わないでください。

ヘッジトリマーのご使用上のご注意

⚠ 注意

1. ブレードや付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
確実にしないと外れたりし、ケガの原因となります。
2. 刈り込み中、ブレードを無理に押しつけたりすると、ブレードが破損することがありますので注意してください。
3. むやみに振り回したり、作動させながら移動したりせず、正しく本製品を使用してください。設計された速度で安全に作業を行ってください。本製品や付属品に設計されていないような作業はしないでください。
4. 使用しないときや持ち運び、部品交換のときは、ブレードがむき出しにならないようにブレードカバーをしてください。ケガや故障の原因になります。
5. ブレードの交換やお手入れの際は、手袋などで手を保護してから行ってください。ケガの原因になります。
6. はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。
また、肩の高さより高い位置で使用しないでください。
●ケガの原因になります。
7. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
●破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。
8. 作業中は常に保護帽(ヘルメット)、保護メガネ(ゴーグル)、耳栓、保護手袋を着用し、履物は滑り止めの付いた安全靴などの保護具を着用してください。
●ケガの原因になります。
9. 殺虫剤などの薬品が本体についたままにしないでください。破損や亀裂が生じる恐れがあります。
10. 充電器及びバッテリーパックが熱を持ったままでは正常に充電できません。
●充電する前に、必ずバッテリーパック・充電器が十分冷めていることを確認してください。
●1台の充電器で複数の充電を続けて行う場合、必ず15分以上間隔をあけてください。
11. バッテリーパックの連続使用は2個までにしてください。(故障の原因)
●連続使用する場合は本体を十分に冷ましてください。
12. 充電器・バッテリーパックについて
●充電中、充電器やバッテリーパックはある程度熱を持ちますが、故障ではありません。
●新品の状態や長期充電されていなかったバッテリーパックは電池容量が低下し、本来の能力を発揮できない場合があります。この場合2～3回放電を繰り返すと電池容量が回復します。
13. 本体は10～40℃で使用してください。

使用前の準備

● 充電方法

⚠ 警告

1. 必ずこの取扱説明書を全てお読みになり、正しくお使いください。
2. 必ず専用の充電器・バッテリーパックを使用してください。また、充電器の使用電源は必ず銘板に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
3. 充電器の電源コードは無理な力・熱・油等で損傷することがないように注意してください。
4. 温度が10℃未満、又は40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。

⚠ 注意

1. お買上げ時は、バッテリーパックは十分に充電されていない場合があります。ご使用前に充電器で正しく充電してから使用してください。
2. バッテリーパックと充電器の端子部分にごみづまりがある場合は、取り除いてください。
3. 充電時間は周囲温度やバッテリーパックの状態により変動します。
4. 新品や長期間充電されなかったバッテリーパックは、電池容量が低下し、本来の能力を発揮できない場合があります。この場合は2～3回充放電を繰り返すと電池容量が回復します。
5. 使用直後のバッテリーパックは熱を持っているため充電することができません。必ず1時間以上冷ましてから充電してください。
6. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。

● バッテリーパックの取付け・取り外し

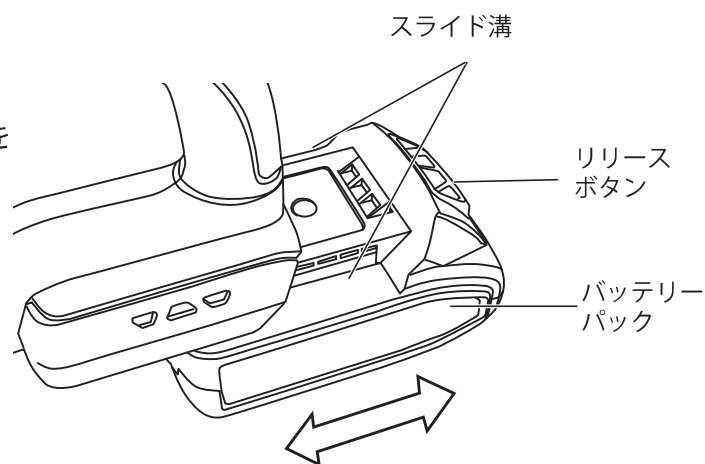
取付け

本体とバッテリーパックのスライド溝をきちんと合わせて、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

※バッテリーパックがしっかり固定されていることを確認してから使用してください。

取り外し

バッテリーパックのリリースボタンを押して、スライドさせて取り外してください。



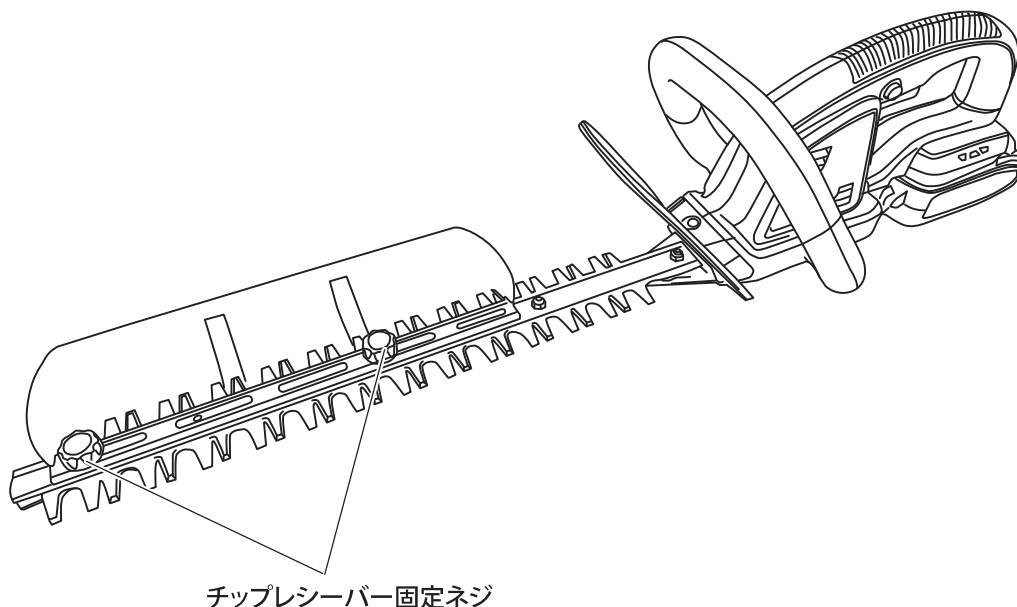
使用前の準備

チップレシーバーについて

刈り取った枝・葉が樹木の中に落ちにくく作業がスムーズに行えます。

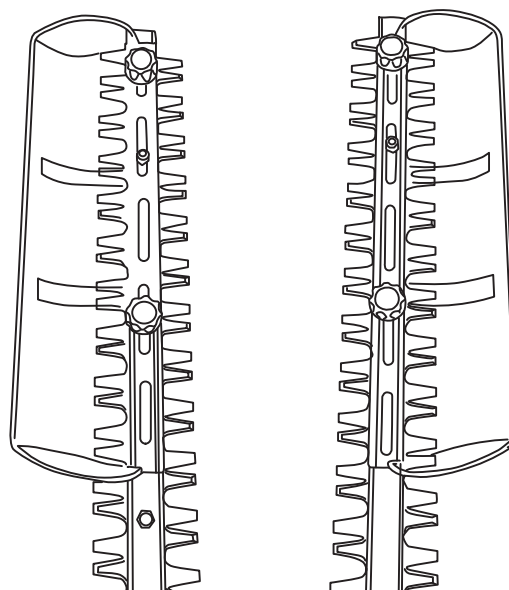
取り付け方法

- ①ブレードに取り付けられているチップレシーバー固定ネジ(2本)を取り外してください。
※取り外したネジは紛失しないよう、本体に取り付けるかお手元で大切に保管をしてください。
- ②チップレシーバー取り付け穴とブレード上面の突起を合わせ、チップレシーバー固定ネジ(2本)で固定してください。



左右兼用

チップレシーバーは使用状況に合わせて
取り付け取り外しを行ってください。



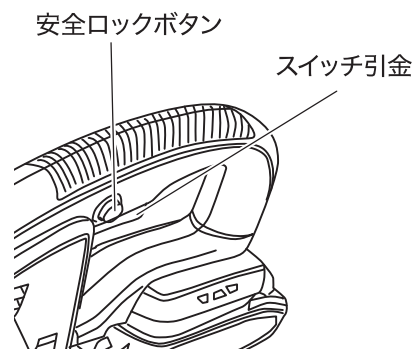
操作方法

スイッチ引き金操作

⚠ 警告

- 本製品は刃物を高速で駆動させる電動工具です。使用のときは細心の注意を払い、作業する環境を整え(雨中・雨上がり・散水直後の濡れている環境では使用せず、作業の邪魔になるものは移動、または取り除いてください。)、作業者は体調を考慮し(作業に疲れたときは休憩をし、体調の優れないときは、作業を控えてください。)、本体・付属品などの点検を十分にし(本体の調子が悪いときや異常がある場合は、使用しないでください。)
作業に適した服装で行ってください。
- スイッチ引金に指をかけて運ばないでください。不意な始動によるケガの原因になります。
- ブレードの取り付け・取り外しの際は、必ずバッテリーパックを本体から抜いてください。
本体が作動して、ケガの恐れがあります。
- ハンドガードは安全のため取り外さないでください。
- 本体にバッテリーパックを挿入するときは、スイッチ引金に指をかけないでください。
不意な始動により事故の原因となります。

- ①スイッチは両端に飛び出ている安全ロックボタンを指で左右どちらかに押した状態で、本機スイッチを引くことができます。
※ブレードについているカバーは外してから動かしてください。
- ②スイッチが作動すれば、安全ロックボタンを離しても作動します。
※スイッチと安全ロックボタンを固定したりして、作業はしないでください。
スイッチ引金から指を外すと動作は停止します。



⚠ 注意

- 本製品は生垣の刈り込み・庭木の整枝専用で使用してください。指定以外の用途(雑草や芝生の刈り込みなど)に使用しないでください。ケガ・故障の原因となります。
- 使用する前に、ブレードを固定しているネジが締まっているか確認してください。
- 使用前・使用后・使用時間が長くなる時はブレードに注油(ミシン油など粘度の低い油)をしてください。
- 使用中、バッテリーパックの残量が少なくなるとブレードの動きが遅くなり、切れ味が落ちます。

操作方法

作業方法

⚠ 警告

- 刈り込みのときは、両手で本体をしっかり保持し、手がブレードに触れることのないように十分に注意してください。
- 使用中は、ブレードに手や顔などを近づけないでください。また、スイッチを切ってもブレードは数秒間、惰性で動いていますので注意してください。ケガの原因になります。
- 枝や異物をかみ込んだときは、ただちにスイッチを切り、本体からバッテリーパックを抜き取り、異物を取り除いてください。

⚠ 注意

- 作業途中(休憩時など)に、本体を直射日光の当たる場所・高温になる場所には放置しないでください。モーターの冷却が十分に行われず、モーター故障の原因になります。
- モーターがロックしたり、回転が極端に落ちるような使い方をしないでください。モーター焼損の原因になります。
- 本体のヘッド部(モーター周辺)が熱くなるようでしたら、使用を中止し、温度が下がるまで待ってください。
- 濡れた枝の刈り込みはしないでください。故障の原因になります。
- ブレードを生垣などの中に押し付けて一度に多量の枝を刈ろうとしてもうまく刈れません。また、ブレードが枝や異物をかみ込んだときは、すぐに作業を止めてください。モーターに過剰な負荷がかかり、本体故障の原因になります。
- 作業中にモーター冷却用の通気孔に葉などが目づまりしないように注意してください。モーター故障の原因になります。

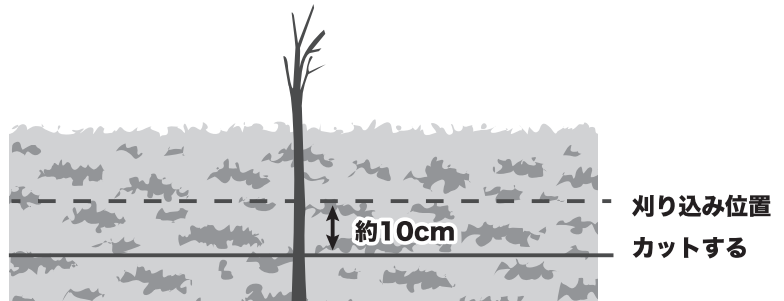
● 保護機能について

作業中に能力以上の切断物をかみ込んでモーターが動かない場合、モーター・バッテリーを保護するために自動的に運転を停止します。その場合はスイッチを離して、電池パックを抜いてから、異物を取り除いてください。

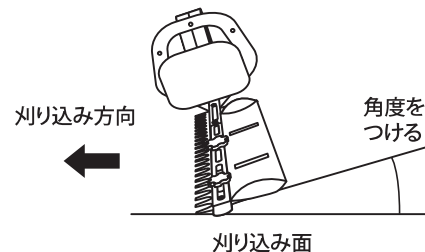
※電池パックを外さないと不意に作動し、事故の原因になりますので、必ず守ってください。

刈り込み方法

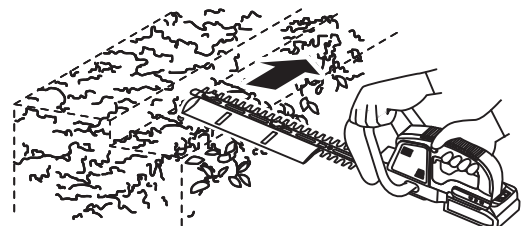
※直径10mm以上の枝は刈り込みを始める前にノコギリ・ハサミなどで刈り込み位置より10cm程度内側に切っておいてください。



1. 刈り込み方向(ブレードの進行方向)に対して刃先を少し下げてください。枝への入り込みがよくなります。

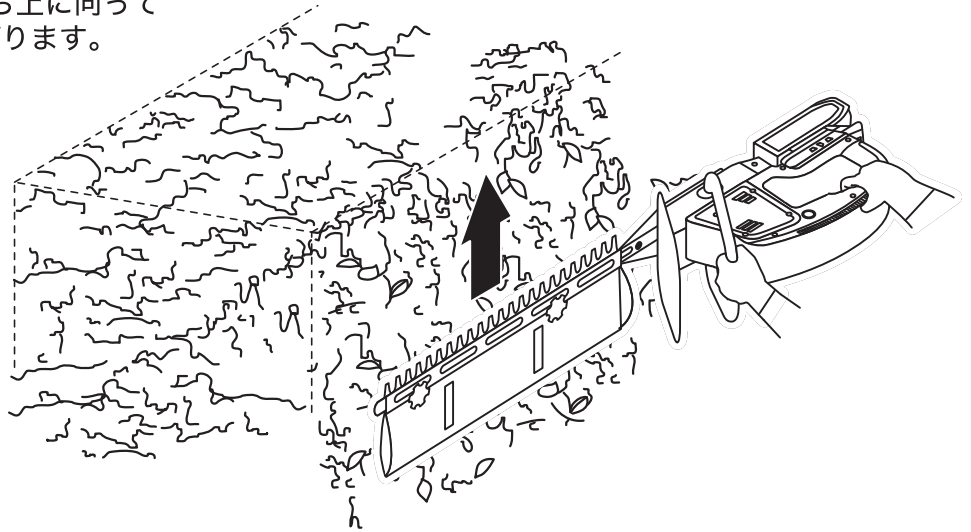


2. 押し込むように速く送らずに
ブレードによる切断とともに
送って刈り込みを行ってください。
(速く送ると枝が曲がって、高さの揃った刈り込みができません。)

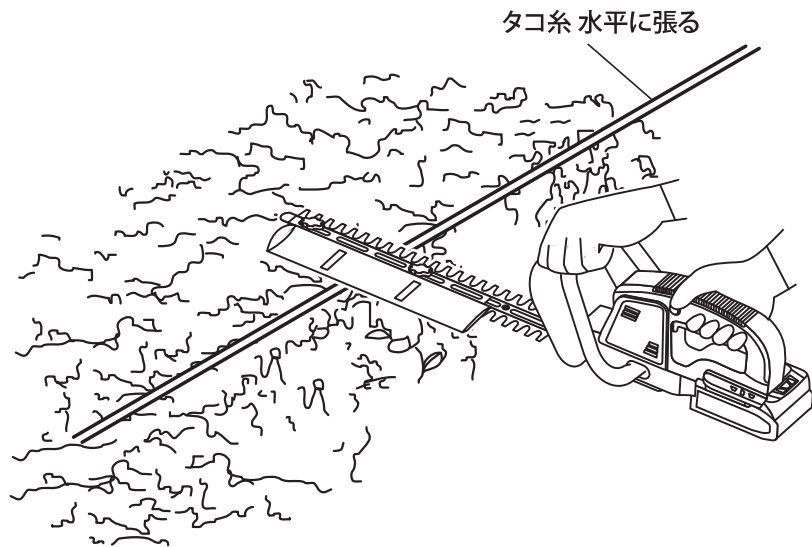


操作方法

- 3.側面を刈るときは下から上に向って
刈ると、きれいに仕上がります。



- 4.一定の高さに揃えたい場合には、タコ糸や水引き糸などを水平に
引っぱり、その高さに沿って刈ると、きれいに仕上がります。
※タコ糸・水引き糸を切断しないように十分気をつけてください。
※刈り込みカスはかき集めて取り除いてください。
残していると美観を損ねるだけでなく病虫害発生
の原因となります。



ブレードの取り外し・取り付け方

⚠ 警告

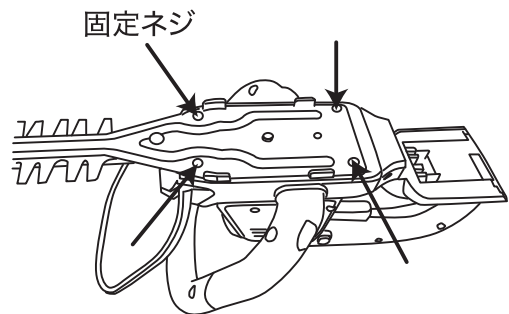
- ブレード交換のときは必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを抜いてください。バッテリーパックを本体に挿入したまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

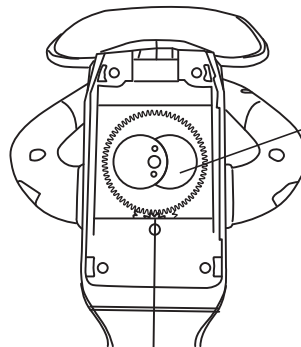
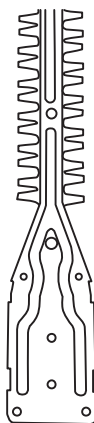
- ブレードは刃物です。取り扱い時には手袋を着用するなどして十分安全に配慮してください。

取り外し

- 1.お手持ちのプラスドライバー(+2)を使い、本体裏面のブレード固定ネジ・スプリングワッシャー(4箇所)を外してください。
 - ※ドライバーはセット内容に含まれていません。お手持ちの物をご用意ください。
 - ※ブレード固定ネジ・スプリングワッシャーをなくさないように注意してください。



- 2.ブレードセットを外してください。



クランク

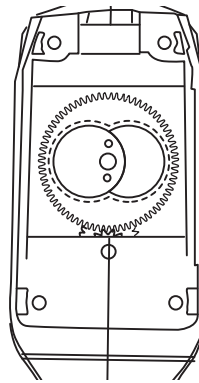
※ブレードを外すとき、クランク部分が一緒に外れる場合があります。

※クランク部のグリースは拭き取らないでください。クランク部・グリースに異物(ゴミなど)が入り込んだ場合は、きれいに取り除き、新しいグリースをつけてください。グリースが十分にシ塗布されていないまま使用されますと、故障の原因になります。

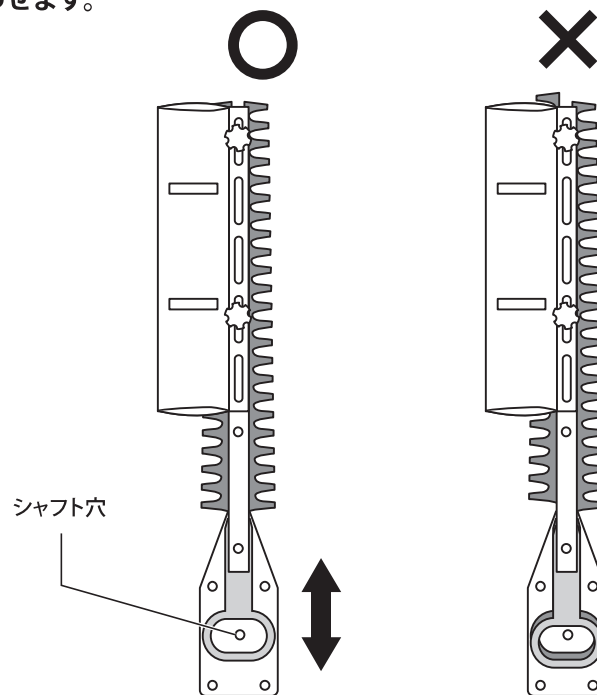
操作方法

取り外し・取り付け方

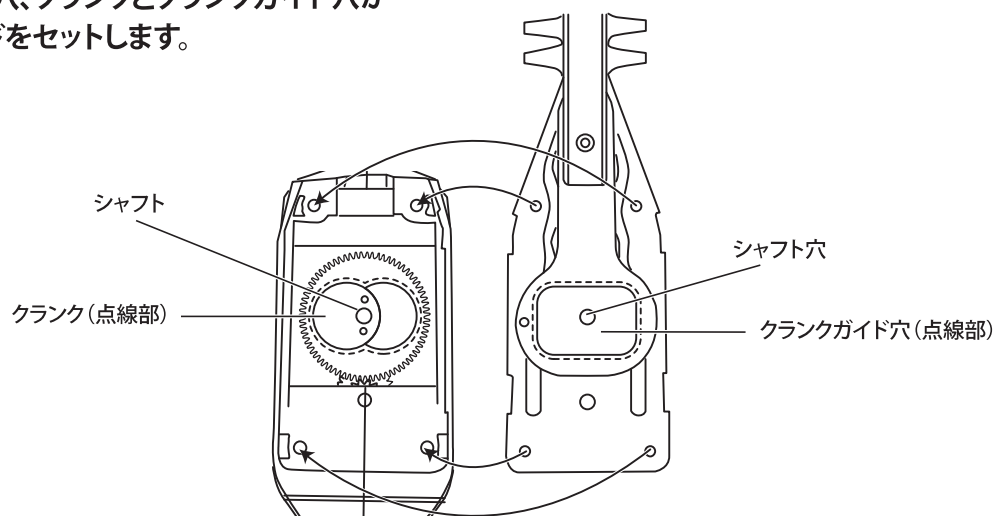
1. クランクが横並びになるようにセットします。



2. ブレードの上刃・下刃が互い違いの位置になるように合わせます。クランクガイド穴の中心にシャフト穴が位置するように合わせます。



3. シャフトとシャフト穴、クランクとクランクガイド穴が合うようにブレードをセットします。



4. 取り外しとは逆手順で取り付けます。

※浮きあがりやズレがないように、確実に取り付けてください。

※取り付け後は本体を横から見て、ブレードセットが確実にセットされていることを確認してください。

※ブレードが正常に動かない場合は、ブレードとクランクのかみ合わせがよくありません。もう一度最初からやり直してください。

ヘッジトリマー350mmのお手入れと保管

● 本体について

⚠ 警告

お手入れのときは必ずスイッチを切り、本体からバッテリーパックを抜いた状態で行ってください。また、作業直後は熱を持っていますので、冷めるのを待ってから行ってください。

● 清掃

1. 作業後は、ブラシなどでブレードや本体通気孔に付いた草や土を落としてください。
2. ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジン等は使用しないでください。また、水をかけての丸洗いはしないでください。(破損・故障の原因)
3. 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

● 各種ねじの点検

各部取付ねじなどでゆるんでいる場所がないか定期的に点検してください。もし、ゆるんでいる場所があれば締め直してください。

● 保 管

1. ハンドガードに負担がかかるような保管はしないでください。ハンドガードが変形したり破損する原因になります。
2. 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない安全な場所、又は鍵のかかる場所にきちんと保管してください。
3. 本体やバッテリーパック・充電器を温度が50℃以上に上がる可能性のある場所(使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下)に保管しないでください。

● ブレードについて

⚠ 注意

- ブレードは刃物です。取り扱い時には手袋を着用するなどして十分に安全に配慮してください。
- 摩耗したブレードを使用すると効率が悪く本体にも負担がかかりますので早めに新しいブレードセット(替刃)と交換することをお勧めします。

1. ブレードは、硬めのブラシで汚れ(ヤニ・樹脂)を表裏ともにきれいに落とし、布で拭き取った後、ミシン油などの粘度の低い油を十分に塗ってください。
2. ブレードの水洗いは絶対にしないでください。
3. 針金・枝などをかみ込み、ブレードにかえりが出たり、キズついたりしたときは、ダイヤモンドヤスリなどで修正をするか、新しいブレード(替刃)と交換してください。

充電器とバッテリーのご使用上のご注意

警告

1. バッテリーパックの充電は温度が10～40℃の範囲で行ってください。
 - 範囲外の温度で充電すると、破裂・火災の原因となります。
2. 火災のおそれがあります。次のことを守ってください。
 - 段ボールなどの紙類・座布団などの布類・畳・カーペット・ビニール袋等の上では充電しないでください。
 - 充電器の通気孔を充電中にふさがないでください。また通気孔に金属類・燃えやすい物を差し込まないでください。
 - 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
3. バッテリーに衝撃を与えないでください。
4. 充電器のバッテリーパック差込口には充電用端子があります。金属片・木等の異物や水を入れないでください。
5. 充電器・バッテリーパック内部に水が入ってしまった場合は、絶対に使用しないでください。
(事故・故障の原因)
6. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。
7. 充電中、異常発熱などの異常に気が付いたときは、ただちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると破裂・発火・発煙の恐れがあります。
8. フル充電状態のバッテリーパックを再充電しないでください。
9. 充電器及びバッテリーパックが熱を持ったままでは正常に充電できません。
 - 充電する前に、必ずバッテリーパック・充電器が十分冷めていることを確認してください。
 - 1台の充電器で複数の充電を続けて行う場合、必ず15分以上間隔をあけてください。
 - 使用直後のバッテリーパックは過熱状態になっていますので、充電する前に必ず十分な冷却時間を設けてください。

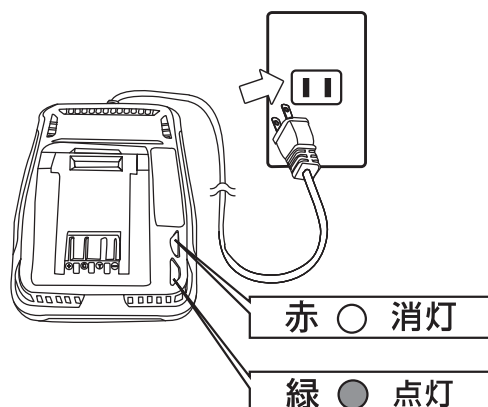
注意

1. 延長コードを使用して充電する場合。
 - 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 - 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項等をよく読み、正しく使用してください。

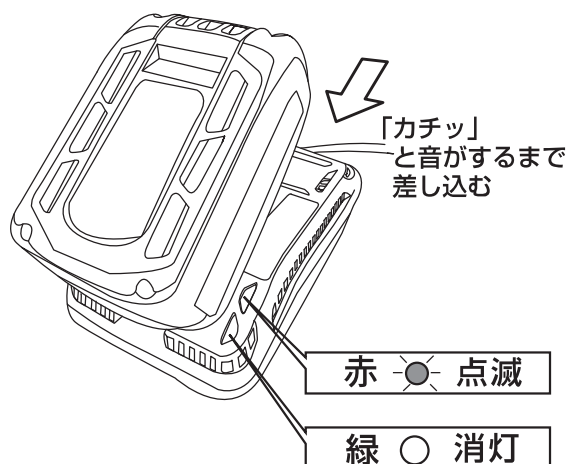
バッテリーパックの充電方法

● 充電方法

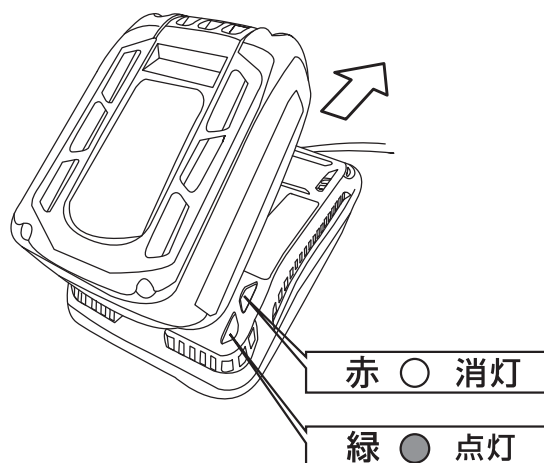
1. 充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでください。緑ランプが点灯することを確認してください。



2. 本体への取り付けと同じ要領で、バッテリーパックを充電器の差込口に奥までしっかりと差し込んでください。
充電が始まると、緑ランプが消灯して、赤ランプが点滅します。



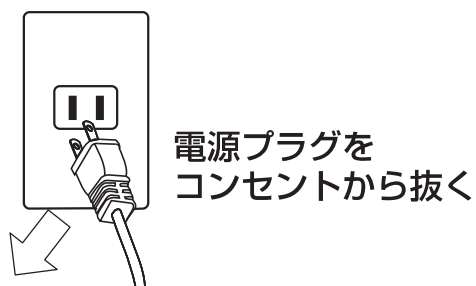
3. 充電が完了すると緑ランプが点灯し、赤ランプが消灯します。充電が完了したら、リリースボタンを押しながらスライドさせバッテリーパックを充電時から外してください。



※充電時間: 1.5Ah約50分/3.0Ah約90分。

※充電完了時と充電器が通電している間は緑ランプが常時点灯しています。

4. 充電が完了したら、必ず充電器の電源プラグをコンセントから抜いて、風通しの良い場所で十分に熱を冷ましてください。



●充電器のランプ表示について

点滅状態	状 態
赤 ○ 消灯 緑 ● 点灯	通電中 ※点灯しない場合は故障の恐れがあります。
赤 ● 点滅 緑 ○ 消灯	充電中
赤 ○ 消灯 緑 ● 点灯	充電完了
赤 ● 点灯 緑 ● 点灯	バッテリーパックの温度が高い ※使用直後のバッテリーパックは熱を持っているため、充電することができません。
赤 ● 点灯 緑 ○ 消灯	充電異常 ※バッテリーパック故障の恐れがあります。

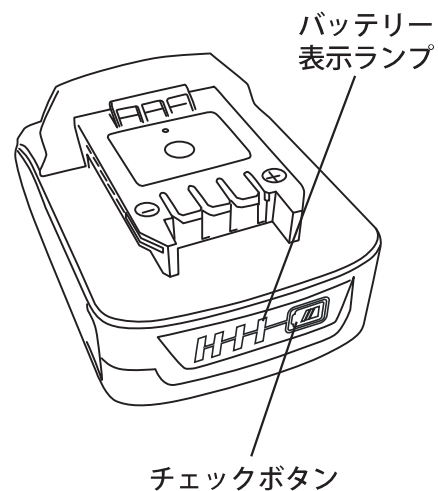
⚠ 注 意

1. バッテリーパックが熱を持っていると、充電できません。室温が25℃以下の風通しの良い場所で1時間以上冷ましてください。
2. バッテリーパック内部の温度が下がらないと充電が開始されません。
3. 充電時間が規定時間に大きく満たない時間で終了してしまう場合、充電異常になっていた恐れがあります。バッテリーパックや充電器を十分に冷ましたうえで再度充電を行ってください。それでもフル充電出来ない場合は、バッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。
4. 充電時間が1.5Ah使用時は60分/3.0Ah使用時は100分を超えても充電が完了しない場合は、バッテリーパックもしくは充電器の故障が考えられます。ただちに使用を中止してください。
5. 充電異常が復旧しない場合または、バッテリーパックおよび充電器の故障が考えられる場合は、ただちに充電器の電源プラグをコンセントから抜き、使用を中止して、お買い上げの販売店にお申しつけください。

●バッテリー残容量表示機能

チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を緑ランプで表示します。

バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■点灯 □消灯	
■ ■ ■ ■	75% - 100%
■ ■ ■ □	50% - 75%
■ ■ □ □	25% - 50%
■ □ □ □	0% - 25% 充電してください



⚠ 注意

- 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

バッテリーパック・充電器のお手入れと保管

⚠ 警告

1. お手入れのときは、バッテリーパックを取り外してください。
2. 故障・異常時は直ちにスイッチを切って本製品の使用を中止し、お買上げの販売店にお申しつけください。

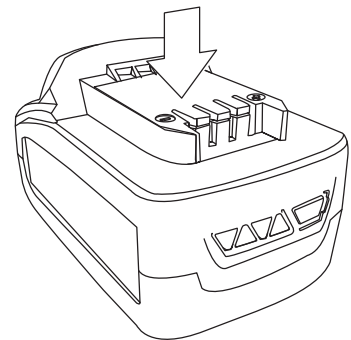
● バッテリーパック・充電器について

⚠ 注意

本体や充電器・バッテリーパックを、温度が50℃以上に上がる可能性がある場所（使用中の暖房器具の付近・車中・直射日光下）に放置・保管しないでください。（故障・バッテリーパック劣化の原因）

1. 長時間使用しない場合は、一旦使い切ってフル充電を行ってから保管してください。使い切った状態で保管すると、バッテリーの性能が低下する場合があります。直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所に保管してください。
2. バッテリーパックを保管・携帯する場合は、カバーを取り付けてください。
3. フル充電を行っても能力が通常の半分以下になった場合は、バッテリーパックの寿命ですので、使用せず新しいバッテリーパックをお買い求めください。
4. バッテリーパックの寿命は、使用頻度・使用方法によって異なります。
5. フル充電したバッテリーパックを再度充電しないでください。バッテリーパックが過充電され、寿命を短くします。
6. 充電は10℃～40℃の範囲で行ってください。使用直後などの熱くなったバッテリーパックは、十分に冷やしてから充電してください。
7. 蓄電能力維持のため、3か月に1度はフル充電を行ってください。

カバーを取り付ける



本製品に使用している蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったバッテリーパックは、環境保護のため一般のごみと一緒に捨てずに、最寄のリサイクル協力店（リサイクル表示のある販売店）までお持ちください。



